



城だより

第686号

日本古城友の会・会報

令和8年(2026)2月8日発行

備前 三石城を訪ねる (3月・第749回例会)

日時: 令和8年3月8日(日) 現地集合 雨天決行 (行程変更あり)
集合: 山陽本線 三石駅 10:00 集合 三石駅は無人駅(IC乗車券使用可能)
行程: 三石駅 → 第2見張所 → 馬場 → 三の丸 → 二の丸 → 本丸(昼食) → 鶯丸 →
大手門跡(記念写真) → 第1見張所 → 千貫井戸 → 三石駅(解散)
※行程: 約4 kmの健脚コースです。

アクセス: ◎JR大阪駅(8:00 発 新快速播州赤穂行) ⇒ 相生 (9:30 着) (9:32 発 普通岡山行)
⇒ JR三石駅(9:55 着)

◎JR岡山駅(9:19 発 普通相生行) ⇒ JR三石駅(10:01 着) ※集合時間遅れOK

帰路(参考)◎JR三石駅(14:54 発 普通相生行) ⇒ 相生(15:17 着) (15:19 発 普通姫路行)
⇒ 姫路(15:38 着) (15:41 発 新快速草津行) ⇒ JR大阪駅(16:43 着)

◎JR三石駅(14:48 発 普通三原行) ⇒ JR岡山駅(15:31 着)

担当幹事: 平川大輔・宮島 茂

持ち物: 弁当 (事前に用意してください。) 飲物、敷物、帽子、ハイキング靴、ステッキ、
タオル、雨具、軍手は必ず持参し、マスク着用は各自の判断をお願いします。
※駅近辺に商店等はありません。自動販売機で飲み物は購入可能です
※トイレは三石駅のみとなります。

参加費: 賛助会員・正会員 800 円、通信会員・当日参加者 1000 円
(資料代・保険代・記念写真代・下見費用として)

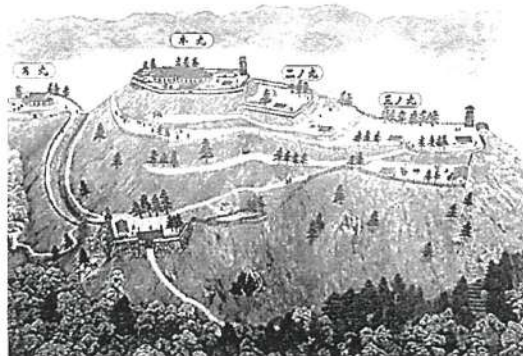
問合せ: 平川大輔

(開催は新型コロナ感染状況によります。ホームページを確認の上ご参加ください。)

【今回のみどころ】

三石城は、岡山県南東部(備前地城)の備前市三石にあり、町を見下ろす標高 291m(比高 200m)の天王山山頂に築かれ、南北 300mほどの規模がある。

正慶2年/元弘3年(1333)、後醍醐天皇の倒幕挙兵に、南朝方として挙兵した地頭の伊東大和二郎により築かれたとされる。室町時代になり、播州白旗城の赤松氏が備前守護職になると、浦上宗隆が備前国守護代として三石城を居城とした。天正5年(1577)、宇喜多



(三石城復元図 中村三郎氏作 郷土誌「三石城」掲載から)

に伝わる伝承では、阿倍氏の子孫安倍保名と実は白狐の母葛之葉との間に生まれた晴明は、母から知恵の玉を譲り受け、不思議な能力を持ったと伝えられています。

今回の史跡めぐりのタイトルをあえてひらがなで「あべの」にし、また最初の目的地で言った漢字が難しいというのは、実は「あべの」あるいは「あべ」の表記が複数存在することでした。現行行政区の阿倍野区、阿倍倉梯麻呂、阿倍王子神社は同じ「阿倍（野）」ですが、昔の阿部野村、阿部野神社、近鉄の駅は大阪阿部野橋駅で「阿部野」、安倍晴明神社は「安倍」です。鋭い参加者の方は途中で気付かれておりました。

再び熊野街道を通り、左手に曲がったところにある阪堺電軌上町線東天下茶屋駅には『馬車鉄道跡』の石碑があります。開業当初は線路の上を馬が客車を曳いていました。他の地域でも同様な事例はあったようですが、西日本ではここだけのようです。ここから電車に乗って天王寺駅前駅に向かう予定が、到着した電車が超満員で焦りました。すぐに次の電車が来て多くの人が座って乗車できたので一安心できました。天王寺駅前駅を出て、地下の路線案内図の前で今日行った場所を振り返り、解散となりました。



今回訪れた場所の地図

愛知県や岐阜県から参加された方、また3年連続で参加された会員外の方もおられ、深く感謝しております。ご満足いただけておりましたら幸いです。また今年一年、よろしくお願いいたします。

報告 藤岡秀典

日本古城友の会

会長 中西 徹

事務局 事務局長 平川 大輔

HPアドレス <https://www.kojyo-tomonokai.com/>

編集・発行 編集部長 下岡 力